

社会福祉法人ユタカ福祉会
令和 7 年度 事業報告書

◎ 喜連西デイサービス（一般デイサービス・和みデイサービス）

○ 総括

令和7年度は感染症予防対策を継続し、施設外行事は日数を増やしてたくさんの利用者に参加頂いた。「桜の散策・紫陽花など四季を感じる」「見て、摘んで楽しい・食べて美味しいいちご狩り」「明治ヨーグルト工場見学」「大阪くらしの今昔館」では江戸時代の町並みや昭和の家電製品など懐かしい体験にタイムスリップ。施設内行事で初めての試み華道部を9月・12月に開催した。女性のみでなく男性の参加もあり、個性豊かに生け花をアレンジして楽しまれていた。恒例の行事食は利用者の目の前で調理するパフォーマンス「揚げたて豪華天ぷら・唐揚げ・煮込みハンバーグ」「屋台風焼きそば」「ちゃんこ鍋」等を提供、餅つきも利用者がいつも心待ちにしている。四季折々、その時その時の感動を味わい楽しんで頂いた。施設内外の行事において、行事参加者から「楽しかった」「また参加したい」「ここの行事食は楽しみで美味しい」との声を多く頂き、満足度向上につながった一年となった。季節感のあるイベントを継続して実施したことで、生活意欲の向上や気分転換の機会となった。

地域交流において、地域行事は地域の防災訓練や“こてつカフェ”“こてつカフェまつり”等に参加し、地域住民との交流する機会も図れた。地域主体の防災訓練ではAEDの使用法、火事の中、煙体験脱出方法、消防訓練や地域ぐるみで防災の知識を共有することができた。利用者とともに方法を学んだ。地域の活動に積極的に参加することで、地域として連携強化が図れるように努めていく。施設で飼育している鳥たちや犬が施設内外で人気となっている。老若男女問わず、おしゃべりする鳥たちも大人気で住民と施設職員の交流の架け橋となっている。施設の認知度向上と地域の拠点となるように努めていく。

令和7年度の一般デイ（予防含む）・和みデイの平均登録利用者数は112名。（一般デイは94名、和みデイは18名。）自事業所、他事業所等も含めて79名のご紹介を頂き、利用に繋がったのが54名となっている。登録者数は前年度に比べて減少となった。ご紹介や新規登録者は前年度よりも増加傾向にあるが、体調不良による入院、入所や他界等での中止者が多い年度となった。令和8年度は多くの利用者で活気・笑顔あふれる施設となる様に、職員が一丸となって適切な支援に努める。和みデイに関しても減少となっている。体験からの新規利用者もあるが短期間で入院や入所となり中止となるケースも少なくない。和みデイの特色を生かし利用者に寄り添い、ともに楽しみ、ともに笑顔で心が通う支援ができるように努める。引き続き感染症対策を講じた上で、利用者にとって活力と意欲が得られる日々を、適切なケアのもとで送れる様に尽力する。

令和7年度を振り返り、年間を通して季節に応じた行事やレクリエーションを多数実施し、利用者に楽しみや生きがいを感じて頂く機会となった。行事を通して笑顔が増え、心がホッとする時間をたくさん共有できた。誰もが参加したい魅力ある行事、未体験で心が躍る行事等の企画で、利用者と職員が一丸となり大盛況だった。

1 行事報告

令和7年

4月6～12日	春の散策	担当：松永・安部
4月24・25日	明治ヨーグルト工場見学	担当：長富・安部・増田
5月3～6日	菖蒲湯	担当：安部
5月21・22日	いちご狩り	担当：松永・長富・増田
6月24・26日	紫陽花観賞と買い物（道の駅）	担当：山下
7月17・18日	七夕祭り	担当：安部
8月29・30日	夏祭り	担当：松永
9月20日	華道部	担当：安部
9月24・25日	敬老会	担当：山下
10月28日	運動会	担当：長富
11月26・28日	大阪くらしの今昔館	担当：安部
12月19日	クリスマス会&餅つき大会	担当：松永・安部
12月18～21日	ゆず湯	担当：安部
12月29日	華道部	担当：安部

令和8年

1月14日	初詣（杭全神社）	担当：松永
1月28日	新年会	担当 長富・安部
2月5日	節分	担当：松永・安部
3月30・31日	レッツゴー・セブンパーク ランチ&デザート&お買い物	担当：松永

※その他、随所でサプライズおやつの提供や、写真撮影会、近隣散策活動を実施。

2 年間業績（前年度との比較）

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,327 (85)	7,842 (83)	7,149 (87)	7,959 (88)	8,018 (87)	7,845 (92)
和みデイ	3,124 (19)	3,623 (22)	3,645 (24)	3,663 (26)	2,958 (23)	3,018 (21)
予 防	631 (20)	607 (18)	573 (18)	536 (17)	489 (15)	466 (15)
合 計	11,083 (124)	12,073 (123)	11,368 (13)	12,159 (131)	11,466 (125)	11,330 (128)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,976 (92)	7,729 (88)	7,805 (90)	7,634 (85)	7,181 (83)	6,752 (78)
和みデイ	3,139 (19)	2,904 (20)	2,583 (17)	2,520 (16)	2,427 (16)	2,328 (17)
予 防	516 (16)	542 (17)	496 (15)	488 (15)	483 (15)	489 (15)
合 計	11,632 (127)	11,176 (125)	10,885 (122)	10,643 (116)	10,092 (114)	9,570 (110)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,005 (77)	6,996 (74)	6,296 (71)	7,312 (74)	7,262 (81)	7,351 (83)
和みデイ	2,401 (18)	3,183 (20)	3,080 (21)	3,273 (20)	2,992 (19)	2,470 (19)
予 防	477 (15)	534 (15)	473 (15)	466 (16)	436 (13)	438 (13)
合 計	9,884(110)	12,073 (123)	9,850(107)	11,051(110)	10,691(113)	10,260(115)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,906 (78)	7,327 (77)	7,782 (80)	7,212 (81)	7,108 (82)	7,846 (88)
和みデイ	2,400 (17)	2,410 (17)	2,912 (17)	2,605 (16)	2,632 (18)	2,899 (19)
予 防	482(15)	541 (17)	543 (17)	466 (17)	488 (17)	488 (16)
合 計	10,789(110)	10,279(111)	11,238(114)	10,285(114)	10,228(117)	11,233(123)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

3 令和7年度スローガン

- ① 「地域に根ざし」 すこやかな笑顔の花咲くサービス提供に努める
- ② 「変わらない毎日が宝物」 一人ひとりの生きがいを大切に心でつなぐチームワーク作り
- ③ 「報告・連絡・相談」 の徹底に努める

◎ 喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか

○ 総括

年度初めは、登録数15名でのスタートだったが、新規利用者が3名（喜連西ケアプランセンター1名・喜連包括1名・リハビリ病院1名）と増加し、また中止者は施設入所5名、長期入院1名となり年度末では12名となった。

認知症状が重度化、日常生活の自立度が低下し、在宅生活が困難で施設入所希望の方もいるなか、出来る限り住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように、利用者本人、家族、主治医と連携を図りながら、寄り添い利用者本位の通いサービス、訪問サービスの提供や泊りサービスで家族の介護負担の軽減に尽力している。

通いサービスでは施設外行事の日数を増やし、たくさんの利用者に参加頂いた。「桜の散策・紫陽花など四季を感じる」「見て、摘んで楽しい・食べて美味しいいちご狩り」「明治ヨーグルト工場見学」「大阪くらしの今昔館」では江戸時代の町並みや昭和の家電製品など懐かしい体験にタイムスリップ。施設内行事で初めての試み華道部を9月・12月に開催した。女性のみでなく男性の参加もあり、個性豊かに生け花をアレンジして楽しまれていた。恒例の行事食は利用者の目の前で調理するパフォーマンス「揚げたて豪華天ぷら・唐揚げ・煮込みハンバーグ」「屋台風焼きそば」「ちゃんこ鍋」などを提供、餅つきも利用者がいつも心待ちにしている。四季折々、その時その時の感動を味わい楽しんで頂いた。施設内外の行事において、行事参加者から「楽しかった」「また参加したい」「ここの行事食は楽しみでとても美味しい」との声を多く頂き、満足度向上につながった一年となった。

運営推進会議の開催は書面にて対応させて頂いた。

令和7年度の売上は4,023万円となり、昨年度と比較して583万円の増額となった。また、ホームページを通して、他事業所や家族の方より新規の問い合わせはあるものの、遠方や長期の泊りサービス希望などの理由により断らざるを得ないケースも多い。さらに当事業所においては、他の同施設に比べ面積的理由等から様々な制約を受ける中で、登録人数を多く増やすことはサービスの低下となってしまう。令和8年度も小多機の周知活動と多様化するニーズに柔軟性と迅速な対応ができるよう心掛け、利用者獲得に努める。

1 年間業績（前年度との比較）

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	2,159（10）	2,206（10）	2,307（11）	2,612（11）	2,380（11）	2,740（12）
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,169（14）	3,563（16）	3,387（15）	3,232（15）	3,138（14）	3,521（15）

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	3,608（15）	3,601（15）	3,357（15）	3,479（15）	3,488（15）	3,242（14）
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,312（15）	3,519（14）	3,202（13）	3,228（13）	3,227（12）	2,971（12）

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

2 令和7年度スローガン、行事報告

スローガン、行事報告に関しては、デイサービス・認知症対応型デイサービスを参照。

◎喜連西ケアプランセンター

○ 総括

令和7年度においても、各事業所と密に連携を図り、利用者および家族の体調管理に努めてきた。しかし令和6年度と同様に、体調悪化により入院し、在宅生活の継続が困難と判断されやむを得ず施設入所となった方や、状態が悪化し他界された方も少なからずおり、その結果として登録人数は減少した。

業務においては、新職員の入職により5名体制に戻り、心機一転、チームワークの構築に努めた。新職員への指導を行う中で、事業所内における報告・連絡・相談・情報共有の重要性について、全職員が改めて認識するよい機会となった。

1 年間目標

① 介護支援専門員としての資質向上・専門性の向上とメンタルケア

昨年度に引き続き、各自が設定した年間目標に基づき外部研修へ積極的に参加し、施設内研修やケース検討会を定期的実施した。ケース検討では他部署の意見も参考とし、異なる立場からの視点や意見を取り入れることで、より良いサービスの提供につながるよう、一人ひとりが意見を出し合うことができた。また、担当者間の情報共有および連携も取れている。

外部研修参加後には必ず普及研修を実施することで、学びを確実に自分のものとし、スキルアップにつなげている。

次年度においても、専門職としての知識向上を図るため、各自が主体的に情報収集を行い、個人の知識として蓄積するだけでなく、事業所内で共有することで、職員全体のスキルアップにつなげていく。

② 職員との連携と職場作り

事業所内において引き続き「相談しやすい環境」を意識し情報共有に努めた。職員同士が互いにフォローしあえるよう、日頃から報告 連絡 相談を常に行うことで自身の担当以外の利用者の把握に繋がり、職員間の信頼関係も年々深まっていると感じている。また、ユタカ福祉会の一員として他部署とも密に連携を図る事で利用者の状況確認や対応が早期に行うことができ、生活の安定化および在宅生活の継続に繋がっている。

次年度においても事業所内の連携はもとより、他部署との連携をさらに強化していく。

③ 連携の強化

地域包括支援センターや地域の病院・診療所からの依頼を受け、各依頼先との情報共有および連携に努めながら対応をしている。複雑な問題を抱える利用者や支援困難ケース等に対して事業所全体で積極的に関わり、ケースカンファレンス等をとおして理解を深め対応策を検討している。その後の経過についても継続した連絡を行う事で、信頼関係の構築にも繋がっていると考える。

次年度においても連携の強化を意識し、信頼される事業所を目指す。

④ 安定した事業運営

毎月一定の新規契約はあるものの、入院や入所となる利用者が増加している事もあり登録人数は減少している。事業所内での共有をより一層強化し、意見交換を行いながら、入院・入所の予防および、利用者様数の安定化に努めた。併せて、今後も地域包括や病院より新規紹介をしていただけるよう、日頃のからの良好な関係性の維持に努める。

⑤ 経費削減を強化

必要以上の事務用品の使用や印刷ミス・その他の無駄が無くすよう、各職員がそれぞれ意識して取り組み、実施できている。今後も事業所内で意識啓発を継続し無駄の削減に努める。

⑥ 感染予防・災害時対策、事業所運営に必要な対策を講じる

(1) 感染予防について

新型コロナ等の感染症に対して、緩和されている部分もあるが、引き続き、事業所全体で感染予防の対策は実施できている。感染予防への意識を忘れることなく、今後も継続していく。

(2) 防災への取り組みについて

利用者宅への訪問時には、利用者自身の防災への認識や取り組み状況を確認し、不足とがみられる場合には個別に助言を行っている。独居の方や認知症の方も多く、こうした方たちへ支援方法については一層の検討が必要であると感じて。引き続き事業所全体で状況の把握に努め、日頃から情報を共有するとともに、地域との繋がりを深め、助け合えるよう関係性の構築に努める。

⑦ リスクマネジメント

(1) 個人情報管理の徹底

個人情報の取り扱いについては、利用目的の範囲内で最小限とし、情報提供の際には都度その利用者および家族に確認を行っている。また、繰り返し事業所内での研修や法人研修に参加する事で情報管理に対する意識向上図られている。次年度においてもより気を緩めることなく、個人情報管理の徹底に取り組んでいく。

(2) 苦情・要望への対応

7年度においても苦情や要望の対応件数は減少している。これは職員一人ひとりが利用者および家族に真摯に向き合い、丁寧な対応を継続してきた結果であると考え。次年度においても意識を高め、心のこもった対応を心掛ける。

(3) 在宅生活継続支援

馴染みのある自宅や地域で暮らし続けることが出来るよう、各事業所や主治医と連携し、多様な社会資源を活用しながら在宅生活継続のための支援を行っている。

今後も継続して良好な関係性を築き地域に頼られる事業所を目指す。

2 外部研修

開催日	演題 議題（主催者）	実施内容	出席者
6 月 10 日	感染予防研修 （（株）プラスティ）	・座学 ・感染予防対策訓練 ・実施後のグループワーク	松本 河越
6 月 17 日	こんな時どうする？ （イロウ（株））	・夜間や急変時、事業所がみつからない ・サービス選定の困り事（ズーム研修）	間瀬
7 月 30 日	自立支援型ケアマネジメント小会議 （平野区 5 包括）	・自立支援型ケアマネジメント検討会議において検討した事例の周知及び講義 ・グループワーク	長原
8 月 19 日	呼吸リハビリ （西大阪訪問看護ステーション）	・在宅で実施できる具体的な訓練 ケア内容のポイント ・PT の視点 生活上の注意点や支援ポイント ・薬剤師による吸入器の手技について	松本
9 月 4 日	防災・災害対応 BCP 研修 （平野区）	・個別避難計画について ・災害時 命を守る為の計画について ・能登半島地震の支援の中で得た知見 専門職に知ってほしい事	河越 松本
10 月 11 日	平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会 専門職体調研修会（るんるんネット） （平野区 5 包括）	・災害時における認知症高齢者等の支援について	河越 松本
10 月 23 日	医療連携 （喜連地域包括支援センター）	・医療連携のあんな事 こんなこと ・第三ブロック交流会	間瀬
11 月 20 日	地域支援者交流会	・保健活動について ・グループワーク	間瀬
11 月 27 日	高齢者虐待研修 （平野区 5 包括）	・平野区の高齢者虐待の現状 ・事例を通して考える	河本
12 月 3 日	平野区自立支援ケアマネジメント検討会議 （喜連地域包括支援センター）	・事例発表 ・検討会議 ・振り返り	間瀬
令和 8 年 1 月 20 日	多職種連携のコツ	・お願いする力 ・断る力 ・教わる力 ・記憶する力	間瀬
令和 8 年 1 月 21 日	自立支援ケアマネジメント伝達会議 自立支援に向けたケアプランの作成とは （平野区 5 包括）	・事例報告 ・法定外研修 自立支援に向けたケアプラン作成	河越
令和 8 年 2 月 28 日	学術研究会	・地域包括ケアの更なる深化へ向けて～ ACP を意識した対話文化の醸成	間瀬

3 年間業績（前年度との比較）

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3,480(190)	3,411(187)	3,476(189)	3,492(192)	3,535(193)	3,304(181)
予防	116(25)	103(24)	134(28)	116(27)	99(22)	142(32)
合計	3,596(215)	3,515(211)	3,610(217)	3,609(219)	3,634(215)	3,447(213)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3,329(182)	3,287(179)	3,434(186)	3,121(172)	2,917(160)	2,904(159)
予防	112(26)	112(25)	121(27)	103(24)	108(24)	99(23)
合計	3,441(208)	3,399(204)	3,555(213)	3,224(196)	3,026(184)	3,003(182)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	2,939(161)	2,896(158)	2,930(160)	2,962(161)	2,893(158)	2,953(160)
予防	99(23)	103(23)	125(27)	116(26)	103(26)	108(24)
合計	3,038(184)	3,000(181)	3,055(187)	3,079(187)	2,997(184)	3,061(184)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	2,994(163)	3,041(165)	3,193(173)	3,287(178)	3,341(182)	3,752(196)
予防	112(27)	112(26)	115(25)	108(25)	112(24)	113(29)
合計	3,121(190)	3,153(191)	3,309(198)	3,395(203)	3,453(204)	3,752(225)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

4 令和7年度スローガン

- ① ユタカな老後は支え愛 気遣い心遣いを忘れずに
- ② 多職種連携を密にとり、QOLの向上に繋がる寄り添った支援を目指そう
- ③ 力を合わせて情報共有 全ケースの把握に努めよう

◎ゆたか訪問介護ステーション

○ 総括

令和7年度においては、前年度に導入した記録のデジタル化をさらに強化し、内容の充実に努めた。利用しているシステムの機能を把握し、日々の業務と照らし合わせながら登録内容を精査し、ヘルパーが実施すべきサービス内容が分かり易くなるよう入力項目を工夫した。週間予定表や曜日ごとのサービス内容、注意点や統一事項を入力・更新し、サービス前のヘルパーが確認しやすい環境を整えた。また、サービス提供責任者による日々の指示内容が充実する事でヘルパーの視点が広がり、これまでにない気付きが得られ報告内容に変化が生じている。これには毎月開催している研修会や定例会議の内容が充実したことも大きく寄与している。サービス提供責任者がこれまでの経験をもとに研修会議内容を検討、ヘルパーに分かりやすく伝わるよう工夫しながら資料を作成することで、自身の理解をも深める事ができている。研修開催日を固定した事で、参加率もよく非常に和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく学ぶ環境が整った。

これらの取り組みにより、利用者の身体状況・生活状況の把握や変化にいち早く対応する事ができ、結果、質の高いサービス提供が実現しており、スローガンに掲げた「利用者の暮らしを実線で把握する」ことが実現できたのではないかと考える。

サービス提供責任者および登録ヘルパーの介護力向上により、看取りケースにも複数かわる事ができ、利用者や家族に寄添い、思いを実現する支援ができた実感した。

今年度はデジタル化の一環として、新たに請求書・領収書および障がいサービスにおける受領のお知らせ等を利用者宛てにアプリで配信するシステムを導入。

利用者やその家族にアプリ登録を依頼し、事業所から配信することで、印刷・封入作業や郵送費の経費削減につなげている。年度末時点で準備段階であるが、次年度6月より本格運用が開始できるよう、利用者家族への説明やアプリ登録の補助などを進めている。

人員については、前年度に引き続き育児休業・介護休業を取得するスタッフがおり年度前半は新規利用者受け入れの制限を行うなど、厳しい状況が続いた。

しかし、年度後半には新規スタッフの入職や復職があり、サービス提供責任者の充足につながったことで、年度末には今年度最高の収益を達成することができた。

一方で、登録ヘルパーにおいては、高齢化が著しく体調不良者や稼働日数・稼働時間の減少、身体介護など負担の大きいサービス提供が困難になるなど課題が残っている。

人員確保に向けては、様々な求人媒体を活用し、既存のスタッフからの紹介制度を周知するなど工夫しているが思うように人は集まらず苦戦が続いている。

次年度は、人員確保に注力しつつ、あらゆるニーズに対応できる人材育成を進めるとともに利用者確保、デジタル化の推進、居宅支援事業所や関係機関との連携強化を図り、安定した質の高いサービス提供を目指して取り組んでいきたい。併せて、各委員会の活動を活性化し、年間を通じた取り組みを推進する事で、事業所全体のスキル向上を目指す。

1 研修報告

開催日を固定し開催。現地参加・リモート参加を選択する事で無理なく参加できるようになった。

○ ヘルパー全体研修

- 4 月 接遇マナー（星里）
- 6 月 個人情報とプライバシー保護（永井）
- 7 月 感染症と食中毒の予防及びまん延防止・感染予防訓練（田渕）
- 8 月 訪問介護の事故対応 ひやりはっと（和田）
- 9 月 防災BCP研修（永井） 防災訓練（和田）
- 10 月 法令遵守と倫理 看取りケア（田渕）防災訓練（星里）
- 12 月 高齢者障がい者虐待防止とハラスメント（清水）
- 1 月 地震防災訓練（緊急訓練）
- 2 月 緊急時の対応（星里）

○ 個別研修

- 5 月 アンガーマネジメント（永尾）
- 7 月 対人援助の基本（田渕）
- 9 月 薬の基本（永井）
- 11 月 着脱と排泄介助（星里）
- 1 月 床からの立ち上がり介助（和田）
- 3 月 障がい者の関わり方（永井）

2 定例会議

- 4 月 スローガン パレット記録内容の注意点 寒暖差について
- 5 月 虐待チェックリスト ストレスチェック
- 6 月 夏の食中毒 冷蔵庫内の保存方法 虐待チェックリスト集計
- 7 月 利用者宅での衛生管理 掃除道具の使用方法
- 8 月 防災訓練実施について ひやりはっとの事例検討・記入例
- 9 月 防災BCP周知
- 10 月 自己点検シート・虐待の芽チェックシート配布
- 11 月 虐待チェックシート集計結果・該当項目の解説 ヒートショックの注意点
- 12 月 場面別緊急時の対応方法
- 1 月 請求書・領収書・お知らせ等のアプリ配信について 次年度個別研修参加アンケート
- 2 月 年間個別研修計画配布 利用者向けアプリ配信について
- 3 月 次年度スローガン パレット・訪問確認表の記録内容における注意事項・周知

3 年間業績（前年度との比較）

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介 護	6,514 (124)	6,558 (118)	7,767 (115)	8,205 (116)	7,301 (117)	6,469 (118)
予 防	1,139 (65)	1,128 (63)	1,147 (61)	1,126 (60)	1,118 (59)	1,146 (59)
総合支援	1,760 (31)	1,841 (32)	2,000 (32)	1,901 (31)	1,730 (30)	1,854 (30)
保険外	45 (24)	53 (24)	38 (21)	48 (24)	52 (21)	48 (21)
合 計	9,458 (244)	9,580 (237)	10,952 (229)	11,281 (231)	10,201 (227)	9,517 (228)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介 護	6,854 (109)	6,776 (112)	9,736 (111)	6,214 (107)	6,620 (112)	7,105 (107)
予 防	1,111 (58)	1,029 (54)	1,072 (56)	1,017 (52)	1,036 (54)	1,025 (54)
総合支援	2,056 (30)	1,959 (30)	1,864 (30)	1,802 (29)	1,745 (30)	1,880 (29)
保険外	33 (21)	46 (16)	47 (22)	62 (23)	49 (20)	29 (20)
合 計	10,054 (218)	9,810 (212)	9,719 (219)	9,095 (211)	9,450 (216)	10,039 (225)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介 護	7,381 (109)	7,075 (103)	6,599 (102)	7,197 (102)	6,628 (102)	6,730 (100)
予 防	1,045 (54)	1,059 (55)	1,059 (54)	1,018 (54)	1,027 (53)	997 (52)
総合支援	2,059 (29)	2,000 (29)	2,024 (29)	2,388 (33)	1,971 (32)	2,048 (30)
保険外	39 (16)	53 (26)	33 (18)	46 (20)	29 (20)	28 (17)
合 計	10,526 (208)	10,189 (213)	10,071 (203)	10,651 (209)	9,656 (207)	9,804 (199)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介 護	6,934 (101)	6,734 (106)	7,351 (108)	6,938 (111)	7,391 (115)	8,197 (117)
予 防	940 (58)	927 (49)	936 (50)	904 (49)	849 (45)	859 (46)
総合支援	2,122 (30)	2,012 (33)	2,317 (35)	2,163 (34)	2,028 (34)	2,309 (35)
保険外	34 (22)	24 (16)	48 (25)	37 (16)	44 (16)	40 (18)
合 計	10,032 (203)	9,698 (205)	10,654 (218)	10,044 (210)	10,303 (210)	11,407 (216)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

4 令和7年度 スローガン

① 心を繋ぎ 日常を築き 人生を績ぐ

私の声は誰かの力に！

② スタッフ間のコミュニケーションを充実させ利用者の暮らしを実線で把握しよう

聞いて見て、気付きの力を養おう

③ 価値観に寄添い笑顔の花を咲かせよう

◎障がい者相談支援センターゆたか

○ 総括

令和7年度は登録人数99名で開始した。

指定特定相談支援及び指定障がい児相談支援として、適宜、新規事業所の見学会などに参加し地域との交流を深め、サービスの向上に努めた。

事業の傾向としては、高齢で後天的に視覚障害になったケースが増えている。

地域包括支援センターやケアプランセンターからの依頼が増えている傾向にある。

登録者が増加した事で請求管理などの事務が複雑となった事で、システムを導入。

これまで独自のシートで利用者情報や計画モニタリング頻度の管理をしてきたが、新たにシステムを導入した事で、スムーズに請求に移行する事ができている。

次年度に向けては、計画やモニタリングの入力を進めていき、システムを最大限活用していきたい。登録者は、年度末時点で5名増加し、103名となった。

1 スローガン・研修等はゆたか訪問介護ステーションに追従

2 年間業績（前年度との比較）

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	198 (11)	108 (6)	199 (11)	228 (12)	107 (6)	88 (5)
モニタリング [※]	538 (37)	571 (39)	526 (36)	415 (29)	630 (43)	557 (38)
登録者数	95 (児 20)	95 (児 20)	96 (児 20)	98 (児 22)	99 (児 22)	99 (児 22)
合計	736 (48)	680 (45)	725 (47)	644 (41)	737 (49)	645 (43)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	86 (5)	206 (12)	120 (7)	68 (4)	226 (13)	86 (5)
モニタリング [※]	488 (34)	495 (34)	600 (41)	432 (30)	533 (37)	483 (33)
登録者数	100 (児 22)	100 (児 22)	100 (児 22)	97 (児 20)	97 (児 20)	98 (児 21)
合計	575 (39)	701 (46)	720 (48)	501 (34)	759 (50)	569 (38)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	208 (12)	38 (2)	264 (15)	157 (9)	176 (10)	68 (4)
モニタリング [※]	458 (32)	606 (42)	407 (28)	445 (31)	550 (38)	542 (37)
登録者数	99 (児 20)	99 (児 20)	99 (児 20)	99 (児 20)	98 (児 20)	97 (児 17)
合計	667 (44)	645 (44)	672 (43)	603 (40)	727 (48)	611 (41)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	245 (14)	208 (12)	103 (6)	174 (10)	213 (12)	139 (8)
モニタリング [※]	460 (32)	576 (40)	509 (35)	401 (28)	550 (38)	523 (36)
登録者数	99 (児 17)	100 (児 17)	101 (児 17)	102 (児 17)	103 (児 17)	103 (児 17)
合計	705 (46)	785 (52)	612 (41)	575 (38)	764 (50)	663 (44)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録

◎ 平野区喜連地域包括支援センター

○ 総括

当センターは開設から 15 年目を迎えた。本年度は、これまで培ってきた地域との関係性を基盤に、各事業について概ね計画どおり実施することができた。今後も関係機関との連携を強化し、地域の実情やニーズを踏まえながら、安定したセンター運営と質の高い支援の提供に努めていく。

1 公平且つ中立的な業務の運営確保

平野区地域包括支援センター運営協議会において運営状況を報告し、承認を得るとともに、委員からの意見を踏まえ、公正かつ中立な運営の確保に努めている。

2 地域包括ケアの推進

①認知症総合支援事業との連携

定期的な会議を実施し、情報共有や意見交換を通じて、円滑な連携体制と顔の見える関係づくりを行った。また、認知症の理解促進を目的とした地域住民向け講演会および専門職向け研修会を開催した。さらに、地域支援者交流会や地域ケア会議へ参画し、関係機関との連携強化および地域課題の共有、解決に向けた協議を行った。

②在宅医療・介護連携推進事業との連携

定期的な会議により情報共有・意見交換を行い、関係機関との連携体制を構築した。地域支援者交流会や地域ケア会議への参画を通じて、多職種間の連携を深め、地域課題の把握と対応について協議した。また、医療機関との交流会に参加し、医療・介護の連携強化に向けた関係づくりを行った。

③生活支援体制整備事業との連携

定期的な会議を通じて情報共有や意見交換を行い、連携体制の強化を図った。生活支援体制整備事業に参画しプロジェクトチームの一員として事業推進に協力した。加えて、喜連西地域における新たな社会活動の場づくりに向けた会議へ参画し、関係機関と連携しながら取り組んだ。さらに、地域支援者交流会や地域ケア会議を通じて、地域課題の共有と解決に向けた協議を行った。

3 総合相談業務

タイムリーにランチと情報共有を行い、各関係機関と連携しながら業務に取り組んだ。また、他の地域包括支援センターおよびランチと協働し、近隣スーパーでの出張相談窓口の設置や、平野区の広報掲示板・SNS を活用した周知活動を実施した。

○相談実人員 9 2 1 人

○延べ相談件数 1 0, 0 1 2 件

4 包括的・継続的ケアマネジメント

- ・平野区介護保険事業者連絡会居宅介護支援部会の事務局として運営をサポートし、ブロック別交流会については集合型での開催を支援した。
- ・地域支援者交流会を開催し、地域の介護支援専門員、地域福祉活動コーディネーター、障がい支援機関とのネットワーク強化を図った。

5 権利擁護業務

- ・平野区役所およびランチと協働し、高齢者虐待の早期発見・早期解決に向けた対応を行った。また、平野区内の地域包括支援センターと合同で、介護支援専門員を対象とした高齢者虐待予防研修を開催した。
- ・介護支援専門員に対し、悪質な訪問販売等に関する情報提供および注意喚起を行った。
- ・成年後見制度の早期活用に向け、介護支援専門員と連携し、情報提供等の支援を実施した。

6 指定介護予防支援

平野区自立支援型ケアマネジメント検討会議および小会議を、他圏域の地域包括支援センターと協力して開催し、地域のケアマネジャーに対し、自立支援型ケアマネジメントの理念や意義の周知・共有を図った。また、ケアマネジャーを対象とした法定外研修を開催した。

【年間売上表】

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,339 (268)	1,305 (262)	1,322 (261)	1,302 (259)	1,320 (260)	1,283 (256)
委託プラン	225 (309)	205 (302)	215 (297)	193 (297)	193 (290)	199 (295)
合計	1,564 (577)	1,510 (564)	1,537 (558)	1,495 (556)	1,513 (550)	1,482 (551)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,338 (263)	1,350 (265)	1,286 (259)	1,305 (258)	1,275 (256)	1,252 (254)
委託プラン	187 (287)	189 (292)	210 (297)	212 (289)	235 (292)	220 (300)
合計	1,525 (550)	1,539 (557)	1,496 (556)	1,517 (547)	1,510 (548)	1,472 (554)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1,240 (249)	1,255 (248)	1,221 (245)	1,201 (242)	1,221 (242)	1,191 (239)
委託プラン	217 (300)	181 (299)	210 (302)	228 (309)	251 (326)	266 (319)
合計	1,457 (549)	1,436 (547)	1,431 (547)	1,429 (551)	1,472 (569)	1,457 (558)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1,285 (254)	1,310 (257)	1,292 (256)	1,239 (248)	1,239 (248)	1,239 (248)
委託プラン	240 (316)	221 (317)	218 (313)	271 (316)	241 (316)	230 (310)
合計	1,525 (570)	1,531 (574)	1,510 (569)	1,510 (564)	1,480 (564)	1,469 (558)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

7 その他

- ・喜連東地域に新設された公営住宅において、地域役員と連携し個別訪問を実施し、相談窓口の周知および高齢者の実態把握を行った。
- ・ポレポレ体操は、地域役員の協力のもと地域の会館を借用し、毎月開催した。
- ・認知症カフェを毎月開催し、多くの地域住民の参加を得た。また、世代間交流事業として「こてつカフェまつり 2025」を開催した。
- ・車いす貸出事業を継続して実施し、貸出をきっかけに介護相談や支援につながったケースもあった。

8 受講研修一覧

日時	研 修 名	場 所	参加者
6月2日間	法人内新入社員研修	動画視聴	古田
6月20日	高齢者虐待対応研修	オンライン	古田
6月20日	法人内研修	西喜連第5住宅集会所	古田・松岡
7月3日間	地域包括支援センター職員基礎研修	オンライン・ライブ配信	古田
7月9日	成年後見制度利用促進研修①	大阪府社会福祉会館	古田
7月11日	長寿社会開発センター研究セミナー	オンデマンド	中西
7月23日	地域包括支援センター基礎研修①	福島区民センター	岩田
7月30日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	平野区区役所	松本
7月31日	地域包括支援センター管理者研修①	天王寺区民センター	安井
8月4日	西・南ブロック多職種研修会	西成区民センター	岩田
8月22日	地域包括支援センター発展研修①	福島区民センター	小倉
8月31日	接遇・ハラスメント防止・人権研修	動画視聴	全職員
9月9日	地域包括支援センター管理者研修②	天王寺区民センター	中西
9月25日	高齢者虐待対応初任者研修	大阪市社会福祉情報研修センター	古田
10月11日	るんるんねっと専門職対象研修	平野区民ホール	西尾
10月23日	介護予防支援業務新任者研修	たかつガーデン	古田
10月27日	高齢者虐待中堅期研修	東成区民センター	安井
10月29日	地域包括支援センター職員テーマ別研修	ライブ配信	古田
10月31日	地域包括支援センター基礎研修②	天王寺区民センター	古田
11月7日	地域包括支援センター発展研修②	福島区民センター	小倉
11月27日	平野区高齢者虐待研修	平野区民ホール	谷本
12月16日	地域包括支援センター医療職研修	大阪府教育会館	岩田
1月21日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	平野区民センター	松本
3月3日	成年後見制度利用促進研修②	大阪市社会福祉情報研修センター	安井
3月11日	令和7年度高齢者・障がい者虐待対応研修	オンライン	中西

※すべての研修について、普及研修を実施した。

9 令和7年度スローガン

- ① 多様な関係機関と協働できる体制を構築し、地域共生社会への取り組みを推進します。
- ② 自立支援型ケアマネジメントを実現できるよう専門性の向上に努めます。
- ③ 就労世代への周知活動を推進し、誰もが知っているセンターを目指します。

◎介護付有料老人ホームゆたか

○ 総括

令和 7 年度においては、「ご入居者様およびご家族様に満足いただけるサービスの提供」を目標に掲げ、入居者と職員がともに喜びのある時間を過ごせるよう、各種取り組みを実施した。

施設運営が 10 年目を迎える中で、入居者の高齢化や平均介護度の上昇、ADL の低下などの課題に直面している。これらに対応するため、業務マニュアルの見直しやサービス内容の改善、介護ロボットの運用を進めるとともに、入居者一人ひとりの状態に応じたケアの提供を目指し、職員会議において継続的に検討を行った。また、日常生活の変化に柔軟に対応し、その時々において必要な支援を見極め、「その人らしい生活」の実現に向けた支援に努めた。

新型コロナウイルス感染症流行以前の生活様式にもどるなか、入居者の楽しみにつながる取り組みについて検討し、行事やレクリエーションの充実を図るとともに、感染症対策に配慮した外出行事を実施した。

人員体制については、正職員の退職に伴い新規職員の採用を行い、適宜体制の維持に努めた。また、各種職員研修を実施し、専門性の向上およびスキルアップを図った。

設備面においては、日常的な安全点検に加え、専門業者による定期点検や修繕、備品整備を実施し、安全な環境の維持に努めた。介護ロボットについても、ご入居者様の安心・安全で健康的な生活の実現に資するよう活用を進めている。さらに、インカムの導入により職員間の情報共有が円滑となり、介護システムの運用によって記録業務の負担軽減を図ることができた。

防災・消防訓練の実施や BCP（災害・感染）の見直し、研修およびシミュレーションを通じて、職員およびご入居者様の防災意識の向上と緊急時対応力の強化に努めた。

これらの取り組みにより、入居者数の大きな減少もなく、年間を通じて満床に近い状態を維持し、安定した施設運営を行うことができた。

定員 30 室に対する年間平均稼働率は約 94% と高水準を維持した。施設での生活においては、安全・安心な日常の提供に加え、入居者一人ひとりが自分らしい楽しみを見出せる環境づくりが重要である。次年度においては、レクリエーションのさらなる充実を図るなど、入居者の満足度向上に努め、安心・安全な生活の提供を継続していく。

1 職員の概要

常勤職員	15 名（令和 8 年 3 月 31 日）
パート職員	9 名（令和 8 年 3 月 31 日）

2 入居者の概要

入居者数	28 名（令和 8 年 3 月 31 日）
平均介護度	3.39（令和 8 年 3 月 31 日（要支援者除く））
平均年齢	88 歳（令和 8 年 3 月 31 日）

3 ボランティア受け入れ

新型コロナウイルス流行以降応募なし

4 施設内行事・施設外行事

月	日	施設内行事・施設外行事
4	4・6	お花見
	20	消防訓練
5	2・3・4	しょうぶ湯
	10	万博記念行事
	28	お楽しみ会
6	21	カラオケ大会
7	6	七夕
8	5・18	外出行事 サーティワンアイスクリーム
	23	アイスコーヒーの日
	27	夏祭り かき氷フェスタ
9	17	敬老会
10	1	10周年記念
	10	外出行事 サーティワンアイスクリーム
11	23	消防訓練
12	12・15・17	近隣喫茶 one 外出行事
	22・23・24	ゆず湯
	24	クリスマス会
1	1・2	お正月 書初め
	14・15	初詣
2	4	節分 ぜんざいの日
	13	防災訓練
3	4	ひな祭り

その他：ゆたリンピック・誕生会を毎月開催

5 施設内研修・施設外研修

4月14日	接遇及びハラスメントについて
5月12日	虐待防止、身体拘束廃止について
6月20日	(法人全体) 倫理、法令厳守について
6月20日	(法人全体) 個人情報(プライバシー)について
6月20日	(法人全体) 認知症について
6月20日	(法人全体) 高齢者虐待について
6月20日	(法人全体) 感染症予防研修及び訓練について
6月20日	(法人全体) 災害時研修及び訓練について
6月24日	感染症・食中毒の予防および蔓延防止
7月8日	非常災害時の対応とBCP(災害)及びシミュレーションについて
7月17日	BCP(感染)シミュレーション
8月18日	事故発生または、再発防止及び緊急時の対応について
9月8日	倫理、法令厳守及びプライバシー保護の取り組みについて
10月20日	認知症および認知症ケアと介護予防及び介護度進行予防について

11月10日	身体拘束及び高齢者虐待についての研修
12月8日	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について
1月19日	事故発生時の対応及び再発防止及び緊急時に対応に関する研修について
2月10日	BCP（災害・感染）及び訓練について
3月9日	次年度研修計画、行事計画、委員会、スローガン作成

※新任研修については、入社後3か月以内に随時行う

6 年間業績（前年度との比較）

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	31名	27名	29名	29名
介護保険	5,928	4,041	6,583	7,113	7,268	7,043
家賃等	4,394	4,973	4,754	4,632	4,674	4,857
合 計	10,376	9,014	11,337	11,745	11,942	11,900
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30名	30名	30名	30名	30名	29名
介護保険	7,738	7,505	7,673	7,604	7,103	7,739
家賃等	5,225	5,203	5,243	5,199	5,131	5,080
合 計	12,963	12,708	12,916	12,803	12,234	12,819

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	29名	29名	29名	30名	30名	30名
介護保険	7,351	6,842	7,478	7,742	7,447	7,417
家賃等	5,161	5,197	5,114	5,192	5,137	5,235
合 計	12,512	12,039	12,622	12,934	12,584	12,652
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	29名	29名	29名	29名	29名	30名
介護保険	7,265	6,838	7,926	7,901	6,842	7,639
家賃等	5,217	5,040	5,215	5,214	5,124	5,197
合 計	12,482	11,878	13,141	13,115	11,966	12,836

※単位：千円

7 令和7年度スローガン

- ① 自分らしい生活多くれるように寄り添う介護
- ② ゆとりある介護は思いやりから生まれる
- ③ 相手の気持ちになって考えよう
- ④ 報連相で一致団結

◎カリーノ保育園

○ 総括

令和7年度は、年間平均在園児数105名（特別支援児6名を含む）にて運営を行った。全国的な少子化の加速、共働き世帯の増加、育児休業制度の定着による低年齢児の入所動向の変化など、保育を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、地域においても園児確保および年齢構成の維持が一層重要な課題となっている。

保育内容においては、「食育」や「非認知能力の育成」への関心が高まる中、クッキング保育を中心とした食育活動を継続して実施した。旬の食材に触れ、実際に調理する経験を通して、食への関心だけでなく、協力性・計画性・達成感といった力を育むことができた。これらの取り組みは保護者からも高い評価を得ており、家庭との連携意識の向上にもつながった。また、近年の多様な保育ニーズに対応するため、HIPHOPやお菓子作り、英語・学習遊びなどの特別保育を継続して実施した。子どもたちは主体的に参加し、多様な体験を通じて成功体験を積み重ねることができた。特に英語活動については、グローバル化の進展を背景に、日常的に英語に触れる環境づくりを重視し、外国人講師を増員することで保育への常時関与体制を整えた。これにより、特別活動にとどまらず日常生活の中でも自然な言語体験が可能となり、多文化理解の促進にもつながっている。

社会体験活動においては、年長児を対象にあべのハルカス、なんばパークス、セブンパーク等への園外活動を実施した。公共空間でのルールやマナーを学ぶ機会となるとともに、非日常的な体験を通して自己肯定感や社会性の育成にもつながった。季節行事の充実を図るため、クリスマス行事を開催し、園児一人ひとりにプレゼントを配布した。行事を通して、子ども達の期待感や喜びを育むとともに情緒の安定や友達との共有体験につながる機会となった。介護ポイント事業登録者の受け入れを実施し、活動を通じて世代交流の機会ができ、園児・地域住民との関わりを深めることができた。また、地域との連携や交流機会の拡大につながり、地域に開かれた事業運営を推進することができた。今後も地域とのつながりを大切にし、多世代が安心して交流できる場づくりに努めていく。

令和7年度に第三者評価を受審し、保育の質および保護者対応において高い評価を得るとともに、評価結果を踏まえた職員研修および保育環境の改善に継続して取り組んでいる。

保護者支援については、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化、さらには子育て不安の複雑化といった社会背景を踏まえ、「保育の見える化」を継続して推進した。活動写真の掲示等により園での様子を可視化することで、保護者が子どもの成長を具体的に感じられる環境を整備し、家庭内での対話促進および安心感の向上につながった。保護者負担軽減の観点から、遠足費用を園にて負担し、全園児が安心して参加できる環境整備に努めた。今後も子どもの健やかな成長と保護者支援の両面を意識しながら園行事の充実に努めていく。さらに、社会全体で課題となっている人材不足や業務負担の増加、ICT化の進展などを背景に、今後は業務の効率化と保育の質の両立が重要となる。令和7年度の実践を踏まえ、引き続き子どもの主体性を尊重した保育を継続するとともに、職員間の共有・振り返り体制の強化にも取り組んでいく必要がある。

今後も社会情勢の変化を的確に捉えながら、子ども一人ひとりの育ちに寄り添うとともに、地域に選ばれる保育園として安定した運営の維持・向上に努めていく。

1 園児数推移

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	15 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	18 ()	18 ()	18 ()	18 ()	17 ()	17 ()
3歳児	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()
4歳児	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (3)	21 (4)	21 (4)
5歳児	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)
合 計	105 (2)	107 (2)	107 (2)	107 (4)	106 (5)	106 (5)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 ()
4歳児	21 (4)	21 (5)	21 (5)	21 (5)	21 (5)	21 (5)
5歳児	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)	21 (1)
合 計	106 (5)	106 (6)	106 (6)	106 (6)	106 (6)	106 (6)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	15 ()	15 ()	15 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	19 ()	20 ()	20 ()	20 ()	20 (1)	20 (1)
4歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()
5歳児	20 (5)	20 (5)	20 (5)	20 (5)	20 (5)	20 (5)
合 計	102 (5)	104 (5)	104 (5)	105 (5)	105 (6)	105 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()	11 ()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	15 ()	15 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
4歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()
5歳児	20 (5)	20 (5)	20 (5)	20 (5)	20 (5)	20 (5)
合 計	105 (6)	105 (6)	105 (6)	105 (6)	104 (6)	104 (6)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

	園児数	令和7年度 年間行事	
4月	102人	入園式・入園、進級お祝い会	異年齢保育開始
5月	104人	こいのぼりの集い・春の遠足(5歳児 両園合同) <いずみ小川いちご農園>、 クッキング保育(お弁当作り・5歳児)、(4歳児) <久宝寺緑地>、(3歳児) <長居公園>・検尿	
6月	104人	運動会(2～5歳児)・保育参加・ブラッシング指導・内科検診・歯科検診 社会体験(5歳児) <甘党まえだ・あべのハルカス>	
7月	105人	プール開き・消防訓練・おもちゃ花火教室(5歳児)・にっこりキャラバン訪問イベント(共済) サマーコンサート(ロック・ア・ゴーゴージュ)・保育実習 <城南学園高校1・3年>	
8月	105人	プール終了・おまつりごっこ・クッキング保育(じゃこ飯・コロッケ作り & すいか割り 5歳児)	
9月	105人	4歳児訪問事業(平野区役所、絵本の読み聞かせ)・買い物体験(5歳児) <サーティワン・イオン> インターンシップ <東住吉総合高等学校3年> 敬老会(5歳児) <喜連西デイサービス>・さんま & 焼き芋パーティー(5歳児 両園合同)	
10月	105人	ハロウィン・運動会(0・1歳児 園内でビデオ撮影)・園外保育(4歳児 両園合同) <キッズプラザ大阪> お泊り保育(5歳児 両園合同) <京都府るり溪少年自然の家>・阪神タイガース訪問イベント	
11月	105人	職場体験 <摂陽中学校2年>・社会体験(5歳児) <バーガーキング & サーティワン> 園外保育(2歳児) <中央公園>、園外保育(3歳児 両園合同) <天王寺動物園>・救命講習	
12月	105人	発表会・保育実習 <城南学園高校1・3年>・ピザパーティー(5歳児 両園合同) 内科検診・クリスマス会・クリスマスコンサート(ロック・ア・ゴーゴージュ)・キウイ収穫 保育実習 <地域限定保育士> お餅つき体験(4・5歳児) <喜連西デイサービス>・年末年始休園	
1月	105人	保育始め・保育参加・交通安全・防犯教室(平野区役所)	
2月	104人	節分豆まき・なんばパークスバイキング(5歳児)・職場体験 <喜連中学校2年> 手洗い指導・喜連西小学校学校探検(5歳児)・大阪マラソンクリーンアップ作戦(3～5歳児)	
3月	104人	ひなまつりの集い・お別れ遠足(3・4・5歳児 両園合同) <神戸どうぶつ王国> 卒園式(5歳児)・お別れちゃんこ鍋パーティー(5歳児 両園合同) お弁当保育(0・1・2歳児)・お別れ会	↓

・その他の活動

英語遊び 週 5 回（外国語講師）

学習遊び 週 2 回

ヒップホップダンス 月 4 回

おやつ作り 月 1 回

巡回指導 月 1 回

避難訓練 月 1 回

世代間交流 年 3 回程度

異年齢児保育 月 1 回程度

保育所体験 月 1 回程度

随時

喜連西デイサービス

お楽しみ会

おやつ作り

保育体験

担当 高橋・小田

担当 倉角・水谷

担当 仲里・勘解由 他

担当 仲里 他

担当 西野

令和7年度 職員研修実施報告書

カリノー保育園

【施設内研修】

	テーマ	講師	実施日	参加人数
1	救命研修	平野区消防署職員	令和7年11月11日	10
2				
3				
4				
5				

【施設外研修】

	テーマ	講師	実施日	場所	参加者
1	特別支援	加藤 義弘	令和7年7月3日	エル大阪	高山 春奈
2	安全管理	清田 岳臣	令和7年7月9日	大阪私学会館	中澤 悠璃
3	保護者支援・子育て支援	杉山 陽	令和7年7月18日	エル大阪	小田 夏樹理
4	保育実践	森本 宮仁子・本田 久美子	令和7年7月23日	エル大阪	高橋 玲奈
5	乳児教育【キャリアアップ】	長瀬 美子	令和7年8月22日	eラーニング	高橋 玲奈
6	保護者支援・子育て支援【キャリアアップ】	小口 将典	令和7年8月26日	eラーニング	小田 夏樹理
7	保護者支援・子育て支援【キャリアアップ】	小口 将典	令和7年8月26日	eラーニング	八倉 未輝
8	テーマ別	相原 栄子	令和7年9月5日	たかつガーデン	小笠原 悠乃
9	安全管理	大阪府警東警察署	令和7年9月9日	大阪社会福祉会館	八倉 未輝
10	障がい児保育【キャリアアップ】	立花 直樹	令和7年9月9日	eラーニング	中澤 悠璃
11	人権保育	田中 一步・近藤 孝子	令和7年9月16日	エル大阪	古石 真由美
12	保健衛生・安全対策【キャリアアップ】	駒田 聡子	令和7年9月19日	eラーニング	高山 春奈
13	保育実践	下田 真一郎	令和7年9月22日	大阪社会福祉会館	水谷 愛羽
14	主任研修	はしもと のりこ	令和7年9月25日	たかつガーデン	西野 有美
15	事故防止	岡 真裕美	令和7年10月15日	たかつガーデン	松本 絵里
16	安全管理	野津 牧	令和7年11月5日	大阪社会福祉会館	八倉 未輝
17	保健	藤谷 宏子	令和7年11月6日	たかつガーデン	仲里 史子
18	主任研修	森本 宮仁子	令和7年11月13日	たかつガーデン	西野 有美
19	カスハラ・ハラスメント	平田 佳之	令和7年11月11日	動画	小田 夏樹理
20	テーマ別	柴田 愛子	令和7年12月19日	エル大阪	中澤 悠璃
21	主任研修	森本 宮仁子・本田 久美子	令和8年1月15日	たかつガーデン	仲里 史子
22	テーマ別	金重 利典	令和8年1月28日	たかつガーデン	小田 夏樹理
23					
24					
25					
26					

◎松原カーリーノ保育園

○ 総括

当年度は、142名（障がい児4名・要保護児童7名を含む）でのスタートとなった。年度途中の退園児5名、入園児5名、平均園児数142名と、大きな変動も少なく比較的穏やかな一年となった。

近年、少子化や育児休業制度の充実化に伴い、保育ニーズは多様化しており、保育士不足や養成校の縮小等、保育業界を取り巻く環境は厳しさを増している。そのような中、本園では「魅力ある保育」「選ばれる園づくり」を意識し、保育内容の充実と保育の可視化に重点を置きながら運営を進めた一年であった。

今年度は特に、保護者や地域に向けた保育の可視化に力を入れ、一日の活動写真の掲示やクラス会での動画上映、ホームページでの発信等を継続して行った。その結果、保護者からは安心感に繋がる声が多く寄せられ、見学者や養成校の学生、潜在保育士からも好意的な反応が見られる等、園の魅力発信に一定の成果を感じることができた。

保育内容については、理念である「笑顔や笑い声があふれる保育」を軸に、「積み重ね＋新たな挑戦」をテーマとして取り組んだ。子ども達が日々の遊びや行事を通して主体的に考え、挑戦し、達成感を味わえる保育を意識したことで、生きる力の土台となる経験を積み重ねることができたと感じている。

運動会・発表会については、一人一人の発達や個性を尊重しながら取り組み、日頃の保育の成果を発表する機会となった。一方で、発表会の観覧席については見えにくさ等の課題もあった為、次年度は観覧環境の改善に努めていきたい。また、現在は発表会でのビデオ撮影を禁止としているが、保護者からの要望や時代背景等も踏まえ、ルールや運用面、安全面を十分に考慮しながら、今後の在り方について検討していきたい。

職員体制については、「安心・安全な保育環境の提供」と「職員育成」を重点目標として各種研修を計画的に実施した。また、法人独自の職員生活応援手当を支給する等、働きやすい職場環境づくりにも努め、職員の意欲向上と定着支援に繋げることができた。

今後も少子化の進行に伴い、園児確保および保育士確保は更に厳しさを増していくことが予想される。その為、地域や保護者、学生、潜在保育士等、多方面から「選ばれる園」であり続ける為には、多様化するニーズを的確に把握し、独自性ある保育や情報発信の強化を継続していく必要がある。また、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、地域との連携や養成校との関係構築、人材育成強化を進め、将来を見据えた安定した運営体制づくりを図っていきたい。

次年度も142名でスタートできることへの感謝を忘れず、「特色ある保育」「丁寧に一人一人の成長を受け止める保育」「子どもの主体性を尊重する保育」を柱とし、子ども達・保護者・職員すべてにとって安心できる園づくりを目指していきたい。

1 園児数推移

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	12 ()	12 ()	12 ()	13 ()	13 ()	13 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	26 ()	26 ()	26 ()	26 ()	26 ()	26 ()
3歳児	27 (3)	27 (3)	26 (3)	26 (3)	26 (3)	26 (3)
4歳児	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)
5歳児	23 (3)	23 (2)	23 (3)	23 (3)	23 (3)	23 (3)
合 計	142 (8)	142 (7)	141 (8)	142 (8)	142 (8)	142 (8)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	13 ()	14 ()	14 ()	14 ()	14 ()	14 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	26 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
3歳児	26 (3)	26 (3)	26 (3)	25 (2)	25 (2)	25 (2)
4歳児	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)
5歳児	23 (3)	23 (3)	23 (3)	23 (3)	23 (3)	23 (3)
合 計	142 (8)	142 (8)	142 (8)	141 (7)	141 (7)	141 (7)

・令和7年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	14 ()	14 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
1歳児	24 ()	24 ()	24 ()	24 ()	22 ()	23 ()
2歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	26 (1)	26 (1)
3歳児	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)
4歳児	25 (1)	25 (3)	25 (3)	25 (3)	25 (3)	25 (4)
5歳児	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)
合 計	142 (4)	142 (6)	143 (6)	143 (6)	142 (7)	143 (8)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
1歳児	23 ()	23 ()	23 ()	24 ()	24 ()	24 ()
2歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
3歳児	25 (1)	25 (1)	25 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)
4歳児	25 (4)	24 (4)	24 (4)	24 (4)	24 (4)	24 (4)
5歳児	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)	29 (2)
合 計	143 (8)	142 (8)	142 (8)	142 (8)	142 (8)	142 (8)

※単位： 名

※ () 内は障がい児

令和7年度 行事報告書

月	園児数	行事			
4月	142	4/1(火)入園式 ・各学年クラス会 4/8(火)進級式 4/17(木)春の遠足(4・5歳児)＜大泉緑地＞ 4/18(金)春の遠足(3歳児)＜大池公園＞	お菓子作り(4・5歳児) 誕生日会(全学年) 避難訓練(全学年)		
5月	142	5/1(木)サプライズ遠足(5歳児)＜中央公園＞ 5/2(金)子どもの日の集い(全学年) 5/8(木)いちご狩り(4歳児)＜地域の畑＞ 5/16(金)避難訓練(松原市消防署来園) 5/21(水)いちご狩り(5歳児)＜和泉小川いちご農園＞ 5/22(木)じゃがいも掘り(4・5歳児)＜地域の畑＞ 5/23(金)手洗い指導(全学年) 5/28(水)内科検診(全学年) ・各学年個人懇談(希望制)・蟻虫検査・検尿 5/12(月)～5/23(金)保育参加 ・(中止)交通安全教室 ・(中止)松原第三中学校 職業体験(3名 2日間)	異年齢保育開始(3・4・5歳児)		
6月	143	6/3(火)田植え(5歳児) 6/5(木)歯磨き指導(3・4・5歳児) 6/12(木)歯科検診 6/16(月)プール開き(全学年) 6/4(水)～6/17(火)保育実習(常磐会短期大学 2名) ・(中止)中央小学校5年生 職場体験 ・(中止・延期)夏遠足＆お泊り保育(4・5歳児本園合同)			
7月	143	7/3(木)サプライズ社会見学 あべのハルカス(5歳児) 7/4(金)七夕の集い(全学年) 7/24(木)七夕コンサート(全学年) (延期)お祭りごっこ			
8月	142	8/18～8/26スポットビジョンスクリーナ視力測定(3・4・5歳児) 8/20(水)クッキング コロッケ・スイカ割り(5歳児 本園合同) 8/26(金)園内研修(講師:中央小学校校長)			
9月	143	9/2(火)お祭りごっこ(全学年) 9/30(火)さんまパーティー(5歳児 本園合同) 9/5(月)～9/17(土)保育実習(常磐短期大学 1名) 9/5(月)～9/17(土)保育実習(常磐大学 2名) 9/5(月)～9/17(土)保育実習(城南女子短期大学 1名) 9/20(火)～10/1(土)保育実習(大阪芸術短期大学 2名) ・運動会総合練習 ・(中止)松原第三中学運動会(5歳児)			
10月	143	10/11(土)運動会(2・3・4・5歳児) ※0・1歳児は園内で撮影 10/15(水)～10/23(木)視力測定(3・4・5歳児) 10/24(金)～10/25(土)お泊り保育(5歳児 本園) 10/28(火)秋の遠足(4歳児 本園合同)＜キッズプラザ＞ 10/30(木)サプライズ お出かけ(5歳児)＜ケンタッキー・31アイス＞ 10/27(月)～11/8(土)保育実習(大阪保健福祉専門学校 1名) ・(中止)稲刈り(5歳児) ・(中止)松原中学校 職業体験(2人 2日間)	5歳児 昼寝終了		
11月	142	11/4(火)芋ほり(3歳児)＜デイサービス ユニール＞ 11/6(木)獅子舞(全学年) 11/7(金)秋の遠足(3歳児 本園合同)＜天王寺動物園＞ 11/11(火)秋の遠足(2歳児)＜大池公園＞ 11/19(水)内科検診(全学年) ・(中止)松原第二中学校 職場体験 ・(中止)ヒューマンタウンフェスティバル(5歳児) ・(中止)園外保育(5歳児本園合同)＜電車 奈良公園＞			
12月	142	12/1(月)歯磨き指導(全学年) 12/9(火)中央小学校 秋祭り交流(5歳児) 12/11(木)手洗い指導(全学年) 12/12(金)防犯教室(松原警察署 来園) 12/19(金)サンタクロース来園・クリスマスケーキ 12/30(水)～年末年始休園 12/1(月)～12/12(金)保育参加 ・(中止)観劇「一芸ボランティア ジャビジャビ」			
1月	142	1/5(月)保育初め 1/8(木)新年会(3・4・5歳児) 1/9(金)避難訓練(松原消防署 来園)			

		1/30(金)中華バイキング			
2月	142	2/3(火)節分豆まき(全学年)・個人懇談(希望制)			
		2/2(火)～2/16(火)・保育実習(大阪芸術短期大学 1名)			
		2/13(金)生活発表会総合練習			
		2/21(土)生活発表会(全学年)			
		2/2(月)～2/16(月)保育実習(大阪健康ほいく専門学校 1名)			
		2/12(木)～2/26(木)保育実習(大阪城南女子短期大学 1名)			
3月	142	3/3(火)ひなまつり交流(5歳児・地域高齢者)			
		3/6(金)中央小学校 授業・給食体験(5歳児)			
		3/11(水)お別れ遠足(3歳児)＜大泉緑地＞			
		3/12(木)ちゃんこパーティー(5歳児 本園合同)			
		3/12(木)お別れ遠足(2歳児)＜大池公園＞			
		3/13(金)コマ回し大会(全学年)			
		3/16(月)お別れ運動会(全学年)			
		3/17(火)お別れ遠足(4・5歳児 本園合同)＜神戸どうぶつ王国＞			
		3/19(木)お別れコンサート(全学年)			
		3/28(土)卒園式・茶話会(5歳児)			
		各学年クラス会	↓	↓	↓

令和 7 年度 研修報告

	研修実施事業者名	研修名	講師	実施日	研修場所	費用	参加者
1	(一社) 保育ICT ADVANCE	マネジメント	馬場 耕一郎	4/1～3/24・6/22	オンライン	¥8,470	木下 萌美
2	(一社) 保育ICT ADVANCE	食育・アレルギー対応	堤 ちはる	4/1～3/24・7/13	オンライン	¥8,470	山岸 明日香
3	(一社) 保育ICT ADVANCE	乳児保育	阿部 和子	4/1～3/24・8/8	オンライン	¥8,470	中澤 波月
4	(一社) 保育ICT ADVANCE	幼児教育	神長 美津子	4/1～3/24・7/6	オンライン	¥8,360	山内 恵音
5	(一社) 保育ICT ADVANCE	食育・アレルギー対応	堤 ちはる	4/1～3/24・7/13	オンライン	¥8,470	高瀬 香名子
6	(一社) 保育ICT ADVANCE	食育・アレルギー対応	堤 ちはる	4/1～3/24・7/13	オンライン	¥8,470	與那城 未来
7	日本赤十字社 大阪支部	事故防止研修	幼児安全法指導員	7/7～7/22・7/23	日本赤十字社大阪府支部	¥852	小川 典子
8	関西学院大学	マネジメント	波田埜 英治	8/11・9/2・9/15	関西学院梅田キャンパス	¥7,500	高田 真理子
9	(一社) 家庭まち創り政策ラボ	障害児保育	森下 匡子	6/18～9/19	オンライン	¥7,500	藤村 一美
10	(一社) 保育ICT ADVANCE	幼児教育	神長 美津子	4/1～3/24・8/2	オンライン	¥8,470	吉田 華琳
11	(一社) 保育ICT ADVANCE	乳児保育	阿部 和子	4/1～3/24・8/8	オンライン	¥8,360	栗栖 昂
12	(一社) 保育ICT ADVANCE	乳児保育	阿部 和子	4/1～3/24・8/8	オンライン	¥8,470	日高 綺美
13	(一社) 保育ICT ADVANCE	障害児保育	松井 剛太	4/1～3/24・8/8	オンライン	¥8,470	房本 理沙
11	(一社) 保育ICT ADVANCE	食育・アレルギー対応	堤 ちはる	4/1～3/24・9/28	オンライン	¥8,470	長谷川 さやか
12	(一社) 保育ICT ADVANCE	障害児保育	松井 剛太	4/1～3/24・8/8	オンライン	¥8,470	多田 歩未
13	(一社) 保育ICT ADVANCE	障害児保育	松井 剛太	4/1～3/24・11/2	オンライン	¥8,470	瀬戸口 愛未
14	(一社) 保育ICT ADVANCE	保護者支援	矢萩 恭子	4/1～3/24・9/28	オンライン	¥8,470	與那城 未来
15	(一社) 保育ICT ADVANCE	保護者支援	矢萩 恭子	4/1～3/24・9/28	オンライン	¥8,470	杉林 志乃
16	(一社) 家庭まち創り政策ラボ	障害児保育	森下 匡子	9/12～12/13	オンライン	¥7,500	田中 雄翔
17							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							

平成30年度～令和 9年度 社会福祉法人ユタカ福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人ユタカ福祉会			法人番号		3 1 2 0 0 0 5 0 0 7 4 3 9		
法人代表者氏名	辰己 祐剛							
法人の主たる所在地	大阪市平野区喜連西三丁目 1 5 番 2 3 号							
連絡先	0 6 - 6 7 9 7 - 2 0 1 1							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和 6 年 9 月 1 0 日（火）							
評議員会の承認年月日	令和 6 年 9 月 1 5 日（日）							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 （単位：千円）	残額総額 （H29 年度末現在）	1 か年度目 （H30 年度末現在）	2 か年度目 （R01 年度末現在）	3 か年度目 （R02 年度末現在）	4 か年度目 （R03 年度末現在）	5 か年度目 （R04 年度末現在）	6 か年度目 （R05 年度末現在）	7 か年度目 （R06 年度末現在）
	(306,430)	(293,430)	(280,430)	(267,430)	(348,090)	(290,110)	424,430	324,430
うち社会福祉充実事業費（単位：千円）		(13,000)	(13,000)	(13,000)	(54,650)	(57,980)	(34,800)	100,000
	8 か年度目 （R07 年度末現在）	9 か年度目 （R08 年度末現在）	10 か年度目 （R09 年度末現在）	合計		社会福祉充実事業未充充分		
	210,000	110,000	0					
	うち社会福祉充実事業費（単位：千円）	114,430	100,000	110,000	424,430(R5 年度以降)			
本計画の対象期間	平成 3 0 年 7 月 1 日～令和 1 0 年 3 月 3 1 日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有 無	事業費 (単位：千円)
(1 か年 度目)	職員給与充実事業	社会福祉事業	新規	職員に対して給与等を増額する。	無	(10,000)
	職員育成事業	社会福祉事業	新規	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	(3,000)
	小計					(13,000)
(2 か年 度目)	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	(10,000)
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	(3,000)
	小計					(13,000)
(3 か年 度目)	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	(10,000)
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	(3,000)
	小計					(13,000)
(4 か年 度目)	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	(30,000)
	通所施設空調修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅 SS の空調設備の改修を行う。	有	(12,450)
	保育所建物修繕事業	社会福祉事業	新規	カリーノ 保育園の建物の改修を行う。	有	(6,200)
	保育所園庭井戸整備事業	社会福祉事業	新規	松原カリーノ 保育園園庭に井戸を整備する。	有	(6,000)
	小計					(54,650)
(5 か年 度目)	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	(30,000)
	通所施設建物修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅 SS の建物の改修を行う。	有	(19,980)
	通所施設大浴場ろ過機修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西デイ・小規模多機能施設の大浴場ろ過機の修繕を行う	有	(8,000)
	小計					(57,980)
(6 か年 度目)	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	(30,000)
	保育所大型遊具整備事業	社会福祉事業	新規	カリーノ 保育園の大型遊具の整備を行う。	有	(4,800)
	小計					(34,800)
7 か年 度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	100,000
	小計					100,000
8 か年 度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	100,000
	保育所日除けシート設置事業	社会福祉事業	新規	松原カリーノ 保育園園庭に日除けシートを設置する。	有	14,430
	小計					114,430
9 か年 度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	100,000
	小計					100,000
10 か年 度目	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	110,000
	小計					110,000
合計						424,430

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	職員の処遇改善と資質向上及び安定的経営基盤の構築の為。
② 地域公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
職員給与充実事業	計画の実施期間における事業費合計	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(30,000)	(30,000)	(30,000)
	財源構成	社会福祉充実残額	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(30,000)	(30,000)
		補助金	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計	100,000	100,000	100,000	110,000	410,000	
	財源構成	社会福祉充実残額	100,000	100,000	100,000	110,000	410,000
		補助金	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
職員育成事業	計画の実施期間における事業費合計	(3,000)	(3,000)	(3,000)	0	0	(9,000)
	財源構成	社会福祉充実残額	(3,000)	(3,000)	0	0	(9,000)
		補助金	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0

事業名	事業費内訳		1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	6 か年度目
通所施設空調修繕事業	計画の実施期間に おける事業費合計					(18,700)	0	0
	財源 構成	社会福祉充実残額				(12,450)	0	0
		補助金				(6,250)	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳		7 か年度目	8 か年度目	9 か年度目	10 か年度目	合計	
	計画の実施期間に おける事業費合計		0	0	0	0	(18,700)	
	財源 構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	(12,450)	
		補助金	0	0	0	0	(6,250)	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳		1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	6 か年度目
保育所建物修繕事業	計画の実施期間に おける事業費合計					(13,700)	0	0
	財源 構成	社会福祉充実残額				(6,200)	0	0
		補助金				(7,500)	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳		7 か年度目	8 か年度目	9 か年度目	10 か年度目	合計	
	計画の実施期間に おける事業費合計		0	0	0	0	(13,700)	
	財源 構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	(6,200)	
		補助金	0	0	0	0	(7,500)	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳		1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	6 か年度目
保育所園庭井戸整備事業	計画の実施期間における事業費合計					(6,000)	0	0
	財源構成	社会福祉充実残額				(6,000)	0	0
		補助金				0	0	0
		借入金				0	0	0
		事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
	事業費内訳		7 か年度目	8 か年度目	9 か年度目	10 か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0	(6,000)	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	(6,000)	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳		1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	6 か年度目
通所施設建物修繕事業	計画の実施期間における事業費合計						(19,980)	0
	財源構成	社会福祉充実残額					(19,980)	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳		7 か年度目	8 か年度目	9 か年度目	10 か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0	(19,980)	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	(19,980)	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳		1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
通所施設大浴場ろ過機修繕事業	計画の実施期間における事業費合計						(8,000)	0
	財源構成	社会福祉充実残額					(8,000)	0
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳		7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0	(8,000)	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	(8,000)	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳		1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
保育所大型遊具整備事業	計画の実施期間における事業費合計						0	(4,800)
	財源構成	社会福祉充実残額					0	(4,800)
		補助金					0	0
		借入金					0	0
		事業収益					0	0
		その他					0	0
	事業費内訳		7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0	(4,800)	
	財源構成	社会福祉充実残額	0	0	0	0	(4,800)	
		補助金	0	0	0	0	0	
		借入金	0	0	0	0	0	
		事業収益	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	

事業名	事業費内訳		1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
保育所日除けシート設置事業	計画の実施期間における事業費合計							
	財源構成	社会福祉充実残額						
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						
	事業費内訳		7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計			14,430	0	0	14,430	
	財源構成	社会福祉充実残額		14,430	0	0	14,430	
		補助金		0	0	0	0	
		借入金		0	0	0	0	
		事業収益		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

※ 単位は千円とする。

5. 事業の詳細

事業名	職員給与充実事業	
主な対象者	当法人職員	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	当法人の職員に対する給与等を増額する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	(全職員に対して給与等を増額。)
	2か年度目	(全職員に対して給与等を増額。)
	3か年度目	(全職員に対して給与等を増額。)
	4か年度目	(全職員に対して給与等を増額。)
	5か年度目	(全職員に対して給与等を増額。)
	6か年度目	(全職員に対して給与等を増額。)
	7か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	8か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	9か年度目	全職員に対して給与等を増額。
	10か年度目	全職員に対して給与等を増額。
事業費積算 (概算)	(平成30年度より3か年間) (年間 10,000 千円×3年間＝ 30,000 千円) (令和 3年度より3か年間) (年間 30,000 千円×3年間＝ 90,000 千円) 令和 6年度より3か年間 年間 100,000 千円×3年間＝300,000 千円 令和 9年度より1か年 年間 110,000 千円×1年間＝110,000 千円	
	合計	(410,000)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(410,000)千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	(職員育成事業)
主な対象者	(当法人職員)
想定される対象者数	(50名)
事業の実施地域	—
事業の実施時期	(平成30年 7月 1日～令和 3年 3月31日)
事業内容	(当法人の職員の資質向上を図る為、研修受講費用を補助する。)

事業の実施スケジュール	1 か年度目	(職員 10 名を対象に費用助成を実施。)
	2 か年度目	(職員 10 名を対象に費用助成を実施。)
	3 か年度目	(職員 10 名を対象に費用助成を実施。)
	4 か年度目	—
	5 か年度目	—
事業費積算 (概算)	(300 千円×職員 10 名×3 年間=9,000 千円)	
	合計	(9,000)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(9,000)千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	(通所施設空調修繕事業)	
主な対象者	(喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者 200 名) (喜連西地域在宅 SS の職員 60 名)	
想定される対象者数	(260 名)	
事業の実施地域	(大阪市平野区)	
事業の実施時期	(平成 30 年 7 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日)	
事業内容	(喜連西地域在宅 SS の空調機器の不具合等が生じていることから、機器の修繕・交換等を行い、施設利用者及び職員に安全で良好かつ快適な生活環境を整える。) (また、感染症の予防、光熱費の削減を図る。)	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	4 か年度目	(施設空調機器の修繕・交換等を行う。)
	5 か年度目	
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	(空調機器修繕費用として 18,700 千円) ((内、社会福祉充実残額充当額にて 12,450 千円、先進的省エネルギー投資促支援事業費補助金にて 6,250 千円を計上予定。))	
	合計	(18,700)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(12,450)千円)

地域協議会等の意見とその反映状況		
事業名	(保育所建物修繕事業)	
主な対象者	(カリーノ 保育園園児 100 名) (カリーノ 保育園職員 25 名)	
想定される対象者数	(125 名)	
事業の実施地域	(大阪市平野区)	
事業の実施時期	(平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日)	
事業内容	(カリーノ 保育園外壁の劣化の為、亀裂及び欠損部から風雨による漏水等がみられる。また、3F トイレ・沐浴室・調乳室の壁が劣化しはがれている。これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに園児及び職員に安全で快適な環境を確保する。 また、水災害時等における事態の拡大化の予防を図っていく。)	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	4 か年度目	(カリーノ 保育園の修繕工事を行う。)
	5 か年度目	
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	(修繕費用として 13,700 千円) ((内、社会福祉充実残額充当額にて 6,200 千円、大阪市民間保育所等大規模修繕費補助金にて 7,500 千円を計上予定。))	
	合計	(13,700)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(6,200)千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		
事業名	(保育所園庭井戸整備事業)	
主な対象者	(松原カリーノ 保育園園児 145 名) (カリーノ 保育園職員 35 名)	
想定される対象者数	(180 名)	
事業の実施地域	(松原市)	

事業の実施時期	(平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日)	
事業内容	(松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設け、周りに木々の植栽や小川等を設置することにより、園児に自然と触れ合うことのできる快適な環境を提供する。 また、井戸水の利用により水費用の削減を行う。)	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	(松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設置する。)
	5か年度目	
	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	(井戸設置費及び周辺設備施工費として 6,000 千円)	
	合計	(6,000)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(6,000)千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	(通所施設建物修繕事業)	
主な対象者	(喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者200名) (喜連西地域在宅SSの職員60名)	
想定される対象者数	(260名)	
事業の実施地域	(大阪市平野区)	
事業の実施時期	(平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日)	
事業内容	(喜連西地域在宅SSの建物(築20年以上)の外壁に亀裂及び欠損等の経年劣化がみられ、今後、水災害時や施設運営において甚大な支障をきたすことが予想される為、これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに、施設利用者及び職員に安全で快適な環境を確保する。)	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	

	5 か年度目	(喜連西地域在宅 SS の建物の修繕を行う。)
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	(修繕費用として、 19,980 千円)	
	合計	(19,980)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(19,980)千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	(通所施設大浴場ろ過機修繕事業)	
主な対象者	(喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたかの利用者 200 名)	
想定される対象者数	(200 名)	
事業の実施地域	(大阪市平野区)	
事業の実施時期	(平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日)	
事業内容	(喜連西地域在宅 SS の建物(築20年以上)の大浴場ろ過機に経年劣化がみられ、ろ過機能が低下している。今後感染症の拡大などが予想される為、これらの修繕により施設利用者に安全で快適な環境を確保する。)	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	(喜連西地域在宅 SS の大浴場ろ過機の修繕を行う。)
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	(修繕費用として、 8,000 千円)	
	合計	(8,000)千円 (うち社会福祉充実残額充当額(8,000)千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	(保育所大型遊具整備事業)	
主な対象者	(カリーノ 保育園園児)	
想定される対象者数	(200名)	
事業の実施地域	(大阪市平野区)	
事業の実施時期	(平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日)	
事業内容	(カリーノ 保育園園庭の大型遊具(木製)に経年劣化等がみられ、都度修繕を行うも、長期間使用を禁止する等、安全で快適な運営に支障をきたす為、新規に大型遊具の整備を行い、園児が健やかに成長できる環境を整える。)	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
	6か年度目	(カリーノ 保育園園庭に大型遊具の整備を行う。)
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10か年度目	
事業費積算 (概算)	(大型遊具の撤去費及び新規設置等 4,800千円)	
	合計	(4,800)千円(うち社会福祉充実残額充当額(4,800)千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	保育所園庭日差し除けシート設置事業	
主な対象者	松原カリーノ 保育園園児140名 松原カリーノ 保育園職員50名 近隣住民、主に児童50名	
想定される対象者数	240名	
事業の実施地域	松原市	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日～令和10年 3月31日	
事業内容	昨今の酷暑を避けるため園庭に日差し除けシートを張り、園児及び職員、又当保育所を使用する近隣住民に対して熱射病対策を行い利用者の健康保持に努める。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	

	3 か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8 か年度目	松原カリーノ保育園園庭に日差し除けシートを設置する。
	9 か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算 (概算)	日差し除けシート及び支柱設置等諸費用として 14,430 千円	
	合計	14,430 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 14,430 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--

◎社会福祉充実計画についての報告

○総括

令和7年度における社会福祉充実計画については、「職員給与充実事業」を通年通り遂行できたが、事業計画額100,000,000円に対して職員給与32,689,953円増加の678,226,318円となり1億円には及ばない結果となった。しかしながら充実計画初年度当初の平成30年3月期の人件費総額539,285,162円と比較すればその差額は138,941,156円の増加であった。新設事業を行うことなく所要人員が一定の割合と考えれば当事業は順調に推移していることが窺える。人件費に関しては、法人給与規程で定めた独自の年間ベアを守りつつ、昨今のインフレに伴った手当の増額及び新設を遂行し、老人介護部門・障がい者支援部門・保育所部門とも処遇改善額の増加に対する同等以上額の分配を行っている。また保育所においては、人事院勧告に伴う国家公務員給与改定等を踏まえた公定価格を考慮し、令和7年度賃金に反映させた。さらに求人情報サービス会社やチラシ等より情報収集して近隣施設の給与調査を行い当法人の給与水準が正しいものかどうかの把握に努めているが、その結果は決して悪いものではない。人件費率から考慮すれば、一般デイ・認知症対応型デイ・小規模多機能で72%、居宅介護で76%、包括（予防支援を含む）で59%、訪問介護69%、障がい者相談支援68%、保育所2園で61%、有料老人ホーム58%となっており、介護保険・障がい者福祉部門全体で66%となっている。有料老人ホームが事業所の中で極端に低かったのは、職員の法人内での部署異動が行われた為である。

当年度充実計画遂行度においては持ち越し計画の遂行に努めたが、いずれも完遂することとはなかった。各計画においては前年（令和6年）度より諸工事業者等と話を詰め様々な検討を行い見積もり取得、理事会にて協議を続けたが計画の完遂は次年（令和8年）度となる。現在すでに進行している事業は、松原カーリーノ保育園の内外装の整備及び大型遊具の整備、日よけシェードの設置である。計画遅延の原因はコロナ禍以降からの急激な工事価格の高騰があり、これにより予定計画が緊急を要するものではなくまだ使用できるから、設置により十分な費用対効果が見込まれるか、などの意見が交錯した故である。現に充実計画には掲載のない工事として、令和8年度に入ってから判明したデイサービスの風呂天井の劣化崩落の危険、タイル目地の剥離等の修繕工事やカーリーノ保育園屋上の建物モールの劣化崩落による緊急工事が行われているところである。

充実残額については当年度は7,850万円が上積みされ58,349万円となった。主には保育所施設・設備整備積立金としてカーリーノ保育園2,400万円、松原カーリーノ保育園5,200万円計上されたことにある。積立金の発生要因は、運営費が上昇したことである。我が国を総体的にとらえると少子化が進み経営難の保育所が増え、経営難を打開する為の施策による運営費の増加と考えられる。当法人二園においては立地、職員の努力の結果等により前年度同等の園児数を確保するに至った。望ましい結果を残すことで盤石に経営を継続することが可能となり、順調に積立金が発生したことにより充実計画は令和6年に変更したものから更に抜本的な変更を行うこととなる。より充実した福祉サービスを地域住民に届けることが出来るよう社会福祉充実残額の活用を深く検討していくこととする。